

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究

研究分担者 齊藤 光江 順天堂大学医学部 教授

研究概要

- ①「高齢乳腺手術患者において理解しやすい全身麻酔説明用媒体はDVDか小冊子か」の調査研究（齊藤光江、水野樹）
- ② 高齢者の外科治療文献レビュー（齊藤光江、中井克也）

研究①

【目的】

術前の手術患者に対する麻酔に関する説明には、DVD、ビデオ、小冊子、用紙などの媒体が用いられている。映像の視聴は、理解度の向上、満足度の向上、不安の軽減に役立つ。

今回、高齢乳腺手術患者における全身麻酔説明用DVDと小冊子の理解のしやすさを比較調査した。

【方法】

2016年6月27日～2018年10月31日に予定された乳腺手術に対して、1名の麻酔科医による連続する全身麻酔症例を対象とした。患者に、術前に、麻酔説明用DVD「麻酔を受けられる患者さんへ麻酔についてのご案内」（2015年製作、モバーシャル社）の視聴と麻酔説明用小冊子「麻酔を受ける方へ：患者さん・ご家族用の麻酔の手引き」（2004年改訂版、正明堂印刷社）（以後、「小冊子」）を読んでもらう。その後、同麻酔科医が、全身麻酔に関する説明を行い、同意を取得した。最後に、「DVD」と「小冊子」のうち、理解のしやすかった媒体を質問し回答を得た。統計には、 χ^2 乗検定を用いた。

【結果】

60歳以上の高齢者は186人で、理解のしやすかった媒体を「DVD」と答えた者は67人(36.0%)、「小冊子」と答えた者は40人

(21.5%)、「DVD」と「小冊子」の両方と答えた者は66人(35.5%)、「DVD」の未視聴者は5人(2.7%)、

「DVD」と答えた者は、高齢者が若年者に比較して少なかった($p<0.05$)。「小冊子」と答えた者は、高齢者と若年者で統計的有意差はなかった。

【結論】

理解しやすい全身麻酔説明用媒体は、高齢者、若年者とも、「DVD」が一番で、次いで「DVD」と「小冊子」の両方、「小冊子」の順であった。DVDは、高齢者より若年者で理解しやすい媒体である。

この成果は2019年7月開催の日本乳癌学会総会で水野樹、齊藤光江が発表した。水野 樹、齊藤 光江. 高齢乳腺手術患者において理解しやすい全身麻酔説明用媒体はDVDか小冊子か. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 27回 Page483(2019.07)

研究②

【目的】乳がん治療を中心に、集学的治療の中で、年齢と共に増加する併存疾患に左右される治療選択肢の数の減少の中でも、QOLを保ちつつ治療効果が上げられるのは、薬物療法なのか、外科治療や放射線治療なのか、あるいはそのいくつかの組み合わせも可能なのかを示す

【方法】乳がんの中でも化学療法の有効性が高いHER2タイプ乳がんにおいて、高齢であるという理由で、化学療法を回避する

症例が多い中、高齢者乳がんの化学療法実施実態、抗 HER2 療法のための投与実態、またそれらの効果について、臨床試験や観察研究のシステマティック・レビューを実施した

【成果】2019年12月乳癌の臨床に投稿、2020年3月に採用決定、6月号に掲載予定である。

佐々木律子、堀本義哉、石塚由美子、魚森俊喬、齊藤光江. 総説『高齢者乳癌患者における抗 HER2 療法のエビデンスとそのマネジメント』. 乳癌の臨床 2020 : 35(3)